

刊行にあたって

上顎総義歯の吸着が達成されたのち、自然の流れとして切望されたのは、下顎総義歯の吸着であった。

そこで1999年に、阿部二郎氏が世界に先駆け、「下顎総義歯の吸着のメカニズム」を理論的にまとめ上げ公表した。

臨床において、その理論に基づいて総義歯を製作すると、確かに多数の症例で下顎の吸着が可能となった。

上下の総義歯が吸着すると、安心して会話が楽しめ、食卓のバリエーションが豊かになり、食事もリズミカルにできるので、家族や友人との団欒も輝いたものとなる。

そのため、この臨床テクニックが種々の媒体により紹介され、18年の歳月を経て、日本全国のみならず世界にも広まりつつある。

阿部二郎氏は、実際に海外にて精力的に講演活動を行っており、その吸着関連書籍は、4ヶ国語に翻訳され、世界で出版されている。拙著も2ヶ国語で上梓している。

吸着下顎総義歯は、世界に向けた日本発信のコンテンツであり、UK、Australia、Canada、中国、韓国等からも日本に学びにくる「Cool Japan!」なのである。

世界では、SEMCD (Suction-Effective Mandibular complete Denture) と呼ばれている。

本書は、この世界的に有名になった「吸着下顎総義歯」を、義歯のスペシャリストである有床義歯学会「Japan Plate Denture Association (JPDA)」の指導員のメンバーが、月刊デンタルダイヤモンドの連載「知れば納得!! 総義歯治療のコツと勘どころ」で2016年5月から10回にわたって詳しく解説したものに、加筆・修正を加え、新たに書籍化したものである。

本書によって、皆さんが「吸着下顎総義歯」の理解と興味をより深め、総義歯治療に取り組んでいただければ幸いです。

本書を、われわれと同じように、困っている無歯顎患者を笑顔にして差し上げるため、汗水流しながら悪戦苦闘を続けている歯科医師、歯科技工士、そしてすべての歯科医療関係者に捧げたい。

2017年12月

山形県・佐藤歯科医院 佐藤勝史